

様

「大阪湾諸港の包括的な連携による

国際競争力の強化」に関する要望書

平成 1 8 年 3 月

大 阪 府
兵 庫 県
大 阪 市
神 戸 市

「大阪湾諸港の包括的な連携による国際競争力の強化」について

域内人口 2,100 万人を擁し、我が国第二の経済圏を形成する近畿圏において、大阪湾諸港は、地域経済や産業の基盤として、また経済成長著しい中国をはじめとする東アジア諸国との国際貿易の玄関口として重要な役割を担っております。

こうした中、国際物流の効率化を図り、ユーザー利便性の更なる向上や産業立地競争力の強化を図るため、「阪神港スーパー中枢港湾プロジェクト」の推進をはじめとして、各港湾管理者におきましても各種の取り組みを実施しており、昨今では尼崎市や堺市臨海部への大規模な企業投資も見られるなど、企業の立地も急増しているところです。

一方、大阪湾諸港におきましては、東アジアとの近接性から多くの中規模船舶が湾内の複数港に寄港しておりますが、ユーザーから、湾内各港への入港毎にとん税・特別とん税が徴収される状況の解消や港湾施設使用料の一層の低減など、港湾コストの大幅削減を実現するための方策として、大阪湾諸港の一開港化の要望が寄せられております。

大阪湾諸港の4港湾管理者といたしましても、大阪湾諸港の包括的な連携による国際競争力の強化に向けた港湾コストの低減を図るため、一開港化の取り組みを協力し進めてまいりますので、国におかれましても、大阪湾諸港のより一層の連携強化に向けて、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年3月6日

大阪府

知事

太田 房江

兵庫県

知事

井戸 敏三

大阪市

市長

關 淳一

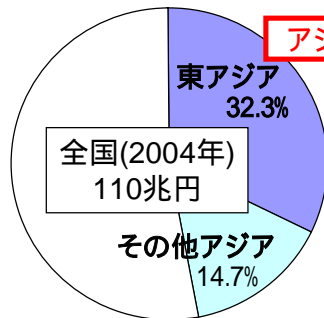
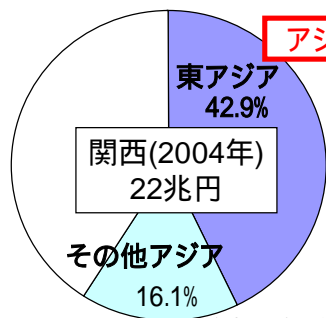
神戸市

市長

矢田 立郎

関西のアジア諸国との密接な関係

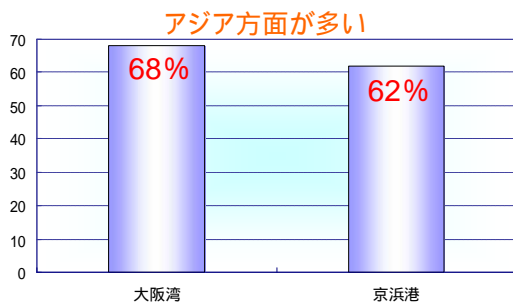
関西と全国のアジア諸国との輸出入額比較



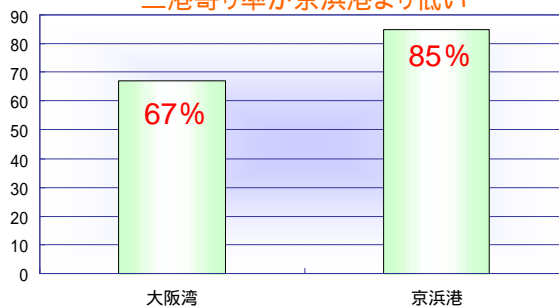
参考：「貿易統計」財務省
 関西：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

大阪湾における外航定期コンテナ航路の特性 (航路数比較)

各港管理者のHPに掲載されている外航定期コンテナ航路をもとに、近畿地方整備局が集計した。

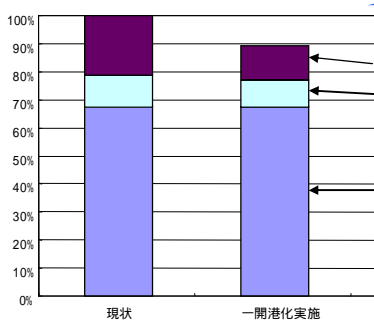


アジア方面航路における二港寄り率が京浜港より低い

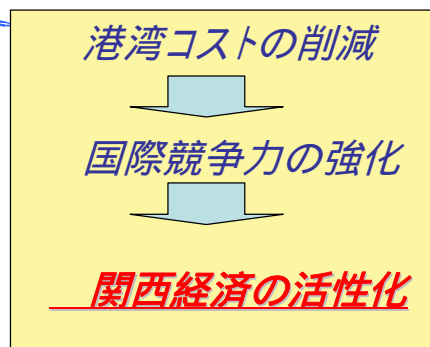


一開港化を通じた大阪湾諸港連携のメリット

船舶コスト削減



船舶コストの約1割削減



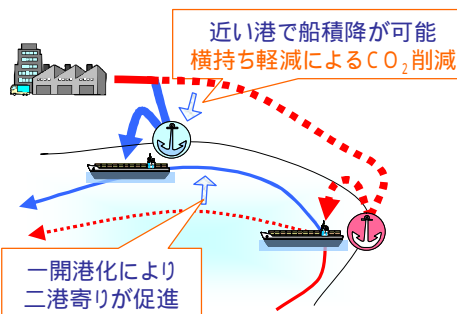
環境負荷の低減

近い港で船積卸が可能になり、横持ち輸送が軽減される

CO₂が削減

阪神間等の大型車通行量の削減

(国道43号線等の環境対策)



自治体の枠を超えた連携の実現